

講義番号	授業科目名		租税法演習Ⅱ		担当教員		田地野 幹雄		
	英語授業科目名	Seminar on Tax Law Ⅱ			単 位	4	学 期	通 年	
対象年次	2 年次		クラス指定			他との関連			
履修条件	大学学部での履修や実務経験等を通じて基礎的な租税法に関する知識を修得していること								
テーマ・副題	高品質の学術論文の完成								
授業の教育目的・目標	受講生各自の研究テーマに基づく修士論文の完成のための指導を行うが、特に、税理士法7条2項に基づいて国税審議会の認定により税理士試験の科目免除を目指す受講生のために、厳格に同項にいう「税法に属する科目等」を射程とした研究論文の完成を目指した指導を行う。								
授業の理解度の到達目標	受講生各自の研究テーマに基づいて、高品質の租税法論文を完成させる。								
授業キーワード	論文形式と法的論理性								
授業の内容	受講生各自の研究テーマに基づく租税法論文の作成指導								
授業の方法	① 受講生による「論文作成のためのフレームワーク」の発表と討議 ② 受講生による租税法論文の発表と討議								
授業展開	1. 講義ガイダンス 2. 論文作成のためのフレームワーク(1) 3. 論文作成のためのフレームワーク(2) 4. 論文作成のためのフレームワーク(3) 5. 論文作成のためのフレームワーク(4) 6. 論文作成のためのフレームワーク(5) 7. 論文作成のためのフレームワーク(6) 8. 論文作成のためのフレームワーク(7) 9. 論文作成のためのフレームワーク(8) 10. 租税法論文の経過発表と討議(1) 11. 租税法論文の経過発表と討議(2) 12. 租税法論文の経過発表と討議(3) 13. 中間発表(1) 14. 中間発表(2) 15. 中間発表(3)				16. 租税法論文の経過発表と討議(4) 17. 租税法論文の経過発表と討議(5) 18. 租税法論文の経過発表と討議(6) 19. 租税法論文の経過発表と討議(7) 20. 租税法論文の経過発表と討議(8) 21. 租税法論文の経過発表と討議(9) 22. 租税法論文の第1稿発表と討議(1) 23. 租税法論文の第1稿発表と討議(2) 24. 租税法論文の第1稿発表と討議(3) 25. 租税法論文の第2稿発表と討議(1) 26. 租税法論文の第2稿発表と討議(2) 27. 租税法論文の第2稿発表と討議(3) 28. 最終発表(1) 29. 最終発表(2) 30. 最終発表(3)				
成績評価方法	修士論文の内容と授業への貢献度を評価要素とする。								
成績評価基準	上記の成績評価要素を総合的に評価する。ただし、原則として、全授業回数の1/3（5回）超を欠席した者には単位を付与しない。								
テキスト	なし								
参考図書	適宜授業中に指示する。								
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	受講生各自の研究テーマに関する先行研究・参考文献・資料等の収集と分析								
学生へのメッセージ	大学院での租税法の学習の要諦は、税理士試験学習のようにルールを「覚える」ことではなく、ルールを「疑う」ことにあることを認識してください。公益財団法人租税資料館の「租税資料館賞」等の著名な論文募集機関の賞を受賞できるような高品質の学術論文の完成を期待します。								
オフィスアワー	授業前後の時間								
連絡先	電話番号	0274-42-2828（内線5514）		メールアドレス：	tajino@sc.jobu.ac.jp				
人数制限	なし								